

学校法人育成学園 令和4年度 自己評価表

1. 学校の教育目標

「確かな技術、豊かな教養を身に付けた調理師・製菓衛生師の養成を通じて社会に貢献する」という教育理念のもと、以下の人材の育成を教育目標とする。

- ・食のプロとしての技術、教養を身に付けた人材。
- ・即戦力として「食」の業界で活躍ができ、「食」を通じて社会全体に貢献できる力を備えた人材。
- ・社会に出ても常に学ぶ姿勢を忘れない人材。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・学校の価値を再度洗い出し、他校との差別化を図る。
- ・カリキュラムのさらなる充実、講師陣の質の向上。
- ・ICT化への研究、取組。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1

① 課題

- ・学校の将来構想を考える中で、社会人の学び直しを強化していく必要があるが、そういったニーズに応えられる学科・コースを検討していく必要がある。

② 今後の改善方策

- ・社会人の学び直しのニーズに対応した短期講習会を8月に実施した。今後も継続的に実施していく予定。
- ・社会情勢は常に変化し続けているため、カリキュラムの見直しを毎年行っていく必要がある。

③ 特記事項

- ・「一人ひとりの味を、ずっと応援」というタグラインのもとに、学校の紹介動画を新たに制作するなど、タグラインの浸透に注力している。
- ・保護者向け案内ツールの作成を検討中。

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	③	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	③	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	③	2	1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	③	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

① 課題

・兵庫県内の公立高校では、令和4年度生より学生全員にタブレットを購入させ、授業での活用が図られつつあるが、本校でもICTを活用した教育環境の構築を検討していく必要がある。

② 今後の改善方策

・令和3年3月に、全館実習室及び8FキッチンシアターのAV機器を更新し、実習デモをオンラインにて配信することが可能となった。今後さらに実用的なカリキュラム構成等を模索していく必要がある。

③ 特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限対応した、教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	③	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ・実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

① 課題

・関連分野の企業や業界団体等との連携授業を、今後さらに発展させていく必要があるとともに、それらの連携先を安定的に確保していかなければならない。

② 今後の改善方策

・調理学科では「フードプランニング」や「高度フードデザイン実習」、製菓学科では「プロジェクト科目」等で関連企業との連携授業を実施しており、長期的に安定して連携できる協力関係を構築できるよう、尽力していく。

③ 特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

① 課題

・就職に関してはオンラインシステムを取り入れて実施しているが、運用方法を教員一人一人まで熟知できていない部分が見受けられる。

② 今後の改善方策

・就職に関してはオンライン導入により利便性が飛躍的に向上したが、自発的に活動できない学生のフォロー体制を強化していく。

③ 特記事項

・独立し店舗をオープンさせる卒業生については、学内掲示板に掲示するなど教職員や学生に情報提供している。

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 課題

・卒業生への支援体制について、個別にはきめ細やかな対応ができているが、体系化できていない部分がある。

② 今後の改善方策

・SNS等を通じて、卒業生との交流や情報提供を積極的にできる体制を構築するよう、注力する。

③ 特記事項

・優秀な学生への経済的サポート強化のため、特待生奨学金制度の内容を拡充した。
・より意欲的な学生の経済的負担を軽減するため、「アドミッション・ポリシー奨学金制度」を新たに創設した。

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・施設、設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備されているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 課題

・施設の老朽化が進んでいる施設設備が部分的に見受けられるので、随時入替更新を進めていく必要がある。

② 今後の改善方策

・施設設備について、計画的に入替更新を進められるよう、更新計画を策定する。

③ 特記事項

・海外研修については、前年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で中止となった。(令和5年度より再開の予定)

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

① 課題

・18歳人口の減少の中、いかに学生数の確保を図っていくか。

② 今後の改善方策

・動画コンテンツやSNSの拡充などを通して、本校の教育方針が広く認知されるよう、引き続き尽力していく。

③ 特記事項

・高校生の認知度向上を図るため、今年度も合計20校の高校や日本語学校に対して出張授業などを行い、交流を深めている。

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計検査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 課題

・今後更なる少子化が進行していく厳しい環境の中、生き残りを図るためには、更なる設備投資、施設拡充が必要であり、それを実行できる財務基盤を確保しなくてはならない。

② 今後の改善方策

・財務基盤の安定のため、学生募集強化・運営体制のスリム化等を引き続き検討していく。

③ 特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

① 課題

・自己評価、学校関係者評価を実施し、組織の問題点改善に活かしているが、その評価基準や内容、進め方等について、定期的に見直していく必要があるのではないか。

② 今後の改善方策

・自己評価、学校関係者評価の実施方法については定期的に見直すこととする。又、第三者評価の導入に向けても引き続き前向きに検討する。

③ 特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

① 課題

・学生が参加している社会貢献活動が定例化しつつあり、新たな活動等への参加が促されていない。

② 今後の改善方策

・社会貢献に繋がるボランティア活動の拡充を図るとともに、その重要性を伝える機会を設ける。
・令和3年度より、社会貢献・地域への還元として、1階のカフェ営業実施日をさらに増やしている。4年度からはランチの提供も開始し、地元住民の方々に好評をいただいている。

③ 特記事項

・業界の講習会を行ったり、子ども料理教室やコンクールの会場貸しをしている。

(11) 国際交流

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	③	2	1
・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続等がとられているか	④	3	2	1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	③	2	1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	③	2	1

① 課題

・新型コロナウイルスの影響により、留学生の在籍数が減少しているが、現在では入国制限も緩和され状況はコロナ前に戻つつあることから、受入再開に向けた体制強化に取り組む必要がある。

② 今後の改善方策

・日本語学校を対象とした学校訪問や出張授業なども再開しているが、さらに強化していく。

③ 特記事項